

【様式1】

令和5年度事務事業評価（事後評価）
（令和4年度実施事業）

事業の概要（Plan:計画）				課コード	1105	事業番号	02
部署室名	環境経済部	課所名	経済振興課	担当名	浜岡	連絡先	4464
事業名	産業活性化推進事業（ビジネスサポート事業）			事業の実施方法	業務委託		
根拠法令							
事業内容	ビジネスサポートセンターこしがやに中小企業診断士等を配置し、市内中小企業者や創業者を対象に、企業経営の改善や競争力の強化、円滑な創業等の支援をする。						
事業開始年度	H28	事業終了年度	-	事業の分類①	市独自事業		
				事業の分類②	ソフト事業		

事業の実施（Do:実施）		令和3年度 決算		令和4年度 当初予算		令和4年度 決算		令和5年度 当初予算		
		人工	人件費	人工	人件費	人工	人件費	人工	人件費	
事業費等	人件費	①常勤職員	0.7	5,478,000	0.4	3,280,000	0.5	3,854,000	0.4	3,280,000
		②会計年度任用職員	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		合計A（①+②）	0.7	5,478,000	0.4	3,280,000	0.5	3,854,000	0.4	3,280,000
	事業費内訳	①国・県支出金								
		②市債								
		③その他の財源					1,200,000			
		④一般財源	9,300,000		10,300,000		10,300,000		11,600,000	
		合計B（①~④）	9,300,000		10,300,000		11,500,000		11,600,000	
		総事業費合計（A+B）	14,778,000		13,580,000		15,354,000		14,880,000	
		事業費が増減した理由	講座開催費等の事業費が増加したため。							
成果	成果指標	1日あたりの経営・創業相談件数			R2年度	R3年度	R4年度	達成度		
	成果指標の説明	ビジネスサポートセンターこしがやにおける1日あたりの経営・相談件数（算出式：経営・創業相談件数の合計/相談日数）			目標	2.2件	3.4件	3.4件	B	目標を80%程度達成した
				実績	3.35件	2.85件	2.74件			
事業の実績	成果指標の算出根拠：経営・創業相談件数の合計677件/相談日数247日=2.74 ビジネスサポートセンターこしがやを拠点として、専門の支援人材（コーディネーター）による、創業や市内中小企業者の経営課題に関する診断・助言・各種コーディネート等の一貫した支援を実施した。									

事業の評価（Check:見直し）		評価内容の説明	
必要性	社会的なニーズ		
	市が実施すべき妥当性	市内事業者へのヒアリングや中小企業白書等によると、事業者を取り巻く経営環境は依然として厳しく、市内産業の活性化及び進行を図るためにも、継続した支援を求められる。	委託化の可能性 あり
	民間との連携		委託可能な範囲 全部を委託済
有効性	事業目的達成への繋がり 事業見直しの必要性	補助金や融資をきっかけとした相談から、具体的な経営相談へ繋がるケースが多く見られる。潜在的な経営課題をサポートする場として有効であると考えられる。	
	ニーズの傾向		
効率性	活動量の成果		
	将来コストの見込み 受益者負担の適正度	目的に沿った事業運営が実施できており、費用対効果は適切であると考えられる。	
外部評価・包括外部監査の指摘（概要）			
上記に対する措置等			
事業を実施した上での課題等	創業相談や経営相談が増加する中で、繁忙期は稼働率が飽和状態となっていることが課題。需要に応じた相談体制を強化していく必要があると考える。		
総合評価	B（課題が少しあり事業の一部見直しが必要）		
総合評価の説明	事業者を取り巻く環境の変化に対応するため、あらゆる相談に対応できる体制を整えていく必要がある。		

今後の方向性（Action:改革改善）	
今後の方向性	見直しの上継続
次年度の取組内容	事業者のDX推進や事業承継問題等、支援内容の充実を図ることで相談者に対するフォローアップを充実していく。